



第1回 血液の悪性腫瘍 ～リンパ腫～

血液内科 医師 吉田 将平

日本内科学会 総合内科専門医
日本血液学会認定血液専門医

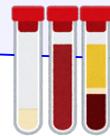


●● はじめに ●●

岩国医療センター血液内科 吉田将平です。

早いもので、岩国医療センターに血液内科が新設されて1年が過ぎ去りました。この度、岩国医療センターだよりに不定期開催として岩国血液内科だよりを掲載することとなりました。何かとわかりにくい血液疾患ですが、代表的なものからわかりやすくを心がけて解説してきます。

記念すべき第1回目のテーマとして、リンパ腫を取り上げました。疾患理解の一助になれば幸いです。次回は、骨髄異形成症候群(MDS)を予定しています(ご要望、都合により変更する場合があります)。では、リンパ腫の話を始めしていきます。

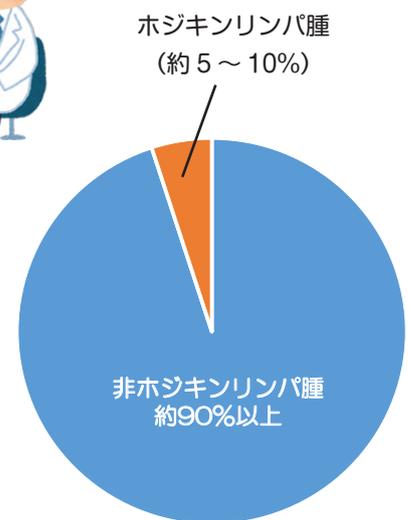


*リンパ腫とは？

リンパ腫とは、白血球の一種であるリンパ球ががん化してリンパ組織(リンパ節、扁桃、脾臓、骨髄など)が腫れる病気です。悪性リンパ腫ともいわれ、**血液の悪性腫瘍**です。

特殊なものを除いて、リンパ腫の原因はわかっていませんが、親から子へ遺伝する病気ではありません。発症頻度は、日本では人口10万人あたり15～20人程度です。

組織学的に**ホジキンリンパ腫(HL)**と**非ホジキンリンパ腫(NHL)**に大別されますが大半が**NHL**であり、日本における**HL**の頻度は全リンパ腫のうち5～10%程度とされています(図1参照)。



【図1 リンパ腫の分類】



NHLは60種類以上に分類されていますが、進行速度によって低悪性度、中悪性度、高悪性度の3つのタイプに分類されます。また発生源によって、大きくB細胞性、T/NK細胞性の2つに分けられます(表1参照)。

【表1 非ホジキンリンパ腫の分類】

	B細胞性	T/NK細胞性
低悪性度 (年単位で進行)	ろほうせい 濾胞性リンパ腫 MALTリンパ腫 へんえんたい 節性辺縁帯リンパ腫	
中悪性度 (月単位で進行)	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫 マンツル細胞リンパ腫	末梢性T細胞リンパ腫 節外性NK/T細胞リンパ腫(鼻型)
高悪性度 (週単位で進行)	パーキットリンパ腫 がきゅうせい リンパ芽球性リンパ腫	成人T細胞白血病・リンパ腫 リンパ芽球性リンパ腫

リンパ腫の症状

発生する場所やタイプによってさまざまですが、**リンパ節の腫れ**が多くみられます。特に、首やわきの下、足の付け根のリンパ節が腫れることが多く、**一般的に痛みはない**です。消化管に病変があると吐き気、食欲不振などが出現する場合があります。

また、全身的な症状として原因不明の発熱、大量の寝汗、体重減少が現れることがあり、B症状といわれます。

主な検査

■血液検査

血球数の増減、顕微鏡による形の異常をみます。

■リンパ節生検

リンパ腫の確定診断およびリンパ腫のタイプを診断する重要な検査です。

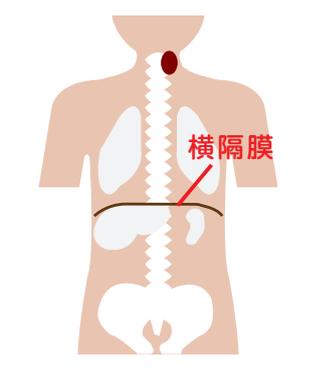
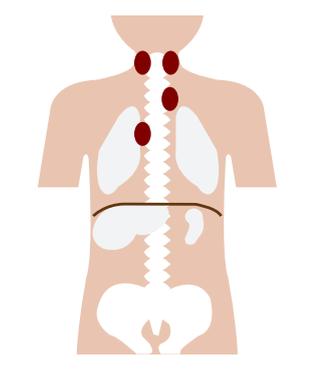
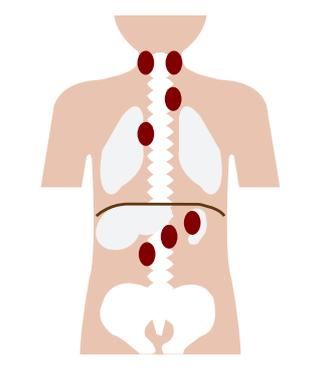
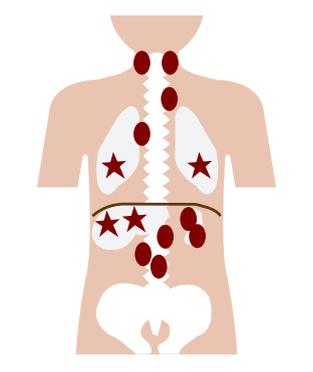
■骨髄検査

骨髄への浸潤を確認します。

■画像検査

(CT、PET-CT、MRIなど) 病気の広がりをみます。

【図2 リンパ腫の病期（ステージ）】

ステージⅠ	ステージⅡ	ステージⅢ	ステージⅣ
			
横隔膜の上下一方の1か所の病変	横隔膜の上下一方の2か所以上の病変	横隔膜の上下両方の病変	肝臓や骨髄、脳などにびまん性の浸潤

リンパ腫の治療

リンパ腫の種類やステージにより、治療方針が異なります。多くのリンパ腫では、治療の基本は抗がん剤を組み合わせた薬物療法（**化学療法**）が行われます。

病変の部位が限られている場合には、**放射線療法**単独ないし併用することがあります。

リンパ腫の種類によっては、リンパ腫のもつ特定の分子を標的とした**分子標的薬**や**造血細胞移植**が適応になることもあります。

化学療法の副作用

副作用として現れる症状やその強さは、使用する薬剤や投与量によっても異なります。主に認められる副作用を示します。

- 吐き気、嘔吐 ●食欲不振、味覚障害
- 骨髄抑制による血液細胞の減少
- 末梢神経障害によるしびれ
- 便秘 ●口内炎
- 心機能障害（動悸、息切れ、むくみなど）
- 脱毛



岩国医療センター血液内科は、岩国地区のみならず山口県東部における血液疾患診療の基幹となれるよう努めてまいります。治療方針に関しては、ご本人（ご家族）のニーズに沿った治療法を選択してまいります。病状や治療法にもよりますが、外来での化学療法も施行しています。

※医療関係者の皆様へ

お問い合わせは、地域医療連携室へお願いします。

※ご来院される皆様へ

外来受診をご希望される際には、かかりつけ医を通して当院の予約を事前にお取りいただき、紹介状をお持ちいただくと円滑な診療が可能となります。紹介状をお持ちでない場合には、平日 8:30～11:00 の間が受付時間となりますが、選定療養費をいただくこととなりますのでご了承ください。

<病院代表> TEL: 0827-34-1000 FAX: 0827-35-5600
 <地域医療連携室> TEL: 0827-35-5646 FAX: 0827-35-5896